

決算説明資料

2023年度第1四半期

日本電解株式会社 2023年8月9日

1. 2023年度第1四半期 決算ハイライト
2. 2023年度第1四半期 業績
3. 2023年度通期 業績見通し
4. 参考資料

1. 2023年度第1四半期 決算ハイライト
2. 2023年度第1四半期 業績
3. 2023年度通期 業績見通し
4. 参考資料

2023年度第1四半期 決算ハイライト

連結業績

売上高は、主に車載電池用銅箔の売上増により前年同期比7.7%増の4,759百万円。営業利益は、引き続き電力価格が昨年比で高水準で推移したものの、生産増及びプロダクトミックスの改善等により、前年同期比96百万円改善し、-241百万円。生産数量は前年同期比19.5%増の2,478トンとなった。



- 車載電池用銅箔：想定通りに着地。半導体不足も緩やかに解消に向かい、ベース需要はQ1を通して徐々に回復
- 回路基板用銅箔：想定通りに着地。スマートフォン向けは世界的なインフレや買い替え需要の低下に伴い、引き続き低調に推移。一方で、車載用基板向けが一部貢献

トピックス

米国カムデン工場 整流器故障の影響について：

今年6月中旬に整流器2基の不具合が発生、7月上旬に1基は製造・出荷を再開。もう1基は、部品調達のため最短で10月以降に復旧見通し。生産能力減少により在庫が逼迫した一部製品については、本社工場（茨城県筑西市）での代替生産を検討中

- **米国オーガスタ新工場**：計画に変更なく、2023年内着工を目途に引き続き資金調達を進行中

1. 2023年度第1四半期 決算ハイライト
2. 2023年度第1四半期 業績
3. 2023年度通期 業績見通し
4. 参考資料

2023年度第1四半期 業績

- 売上高は前年同期比7.7%増：半導体不足の緩和に伴い、車載電池用の需要は徐々に回復。一方で、回路基板用は一部車載向け基板による売上貢献があったものの、スマートフォン等の製品需要の低迷が継続
- 営業利益は、前年同期比で若干改善。電力コストが期平均値では引き続き高水準に留まったものの、販売及び生産数量の増加により、若干改善

(単位：百万円)

| | 2022年度 Q1 | 2023年度 Q1 | 増減額 | 前年同期比 |
|------------------|--------------|--------------|-------|---------|
| 売上高 | 4,419 | 4,759 | 339 | 7.7% |
| 車載電池用銅箔 | 2,729 | 3,438 | 708 | 26.0% |
| 回路基板用銅箔 | 1,690 | 1,321 | △ 369 | △ 21.8% |
| 営業利益 | △ 337 | △ 241 | 96 | - |
| 経常利益 | △ 318 | 44 | 363 | - |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | △ 294 | △ 22 | 272 | - |
| 生産数量 (ト)数) | 2,074 | 2,478 | 404 | 19.5% |

上記の表は、端数切捨てで統一しております。尚、比率の数値は1円単位で計算しているため、端数処理後の数値とは結果が一致しない場合がございます。また、赤字との比較は増減率(%)の記載を-としております。

2023年度第1四半期 損益計算書

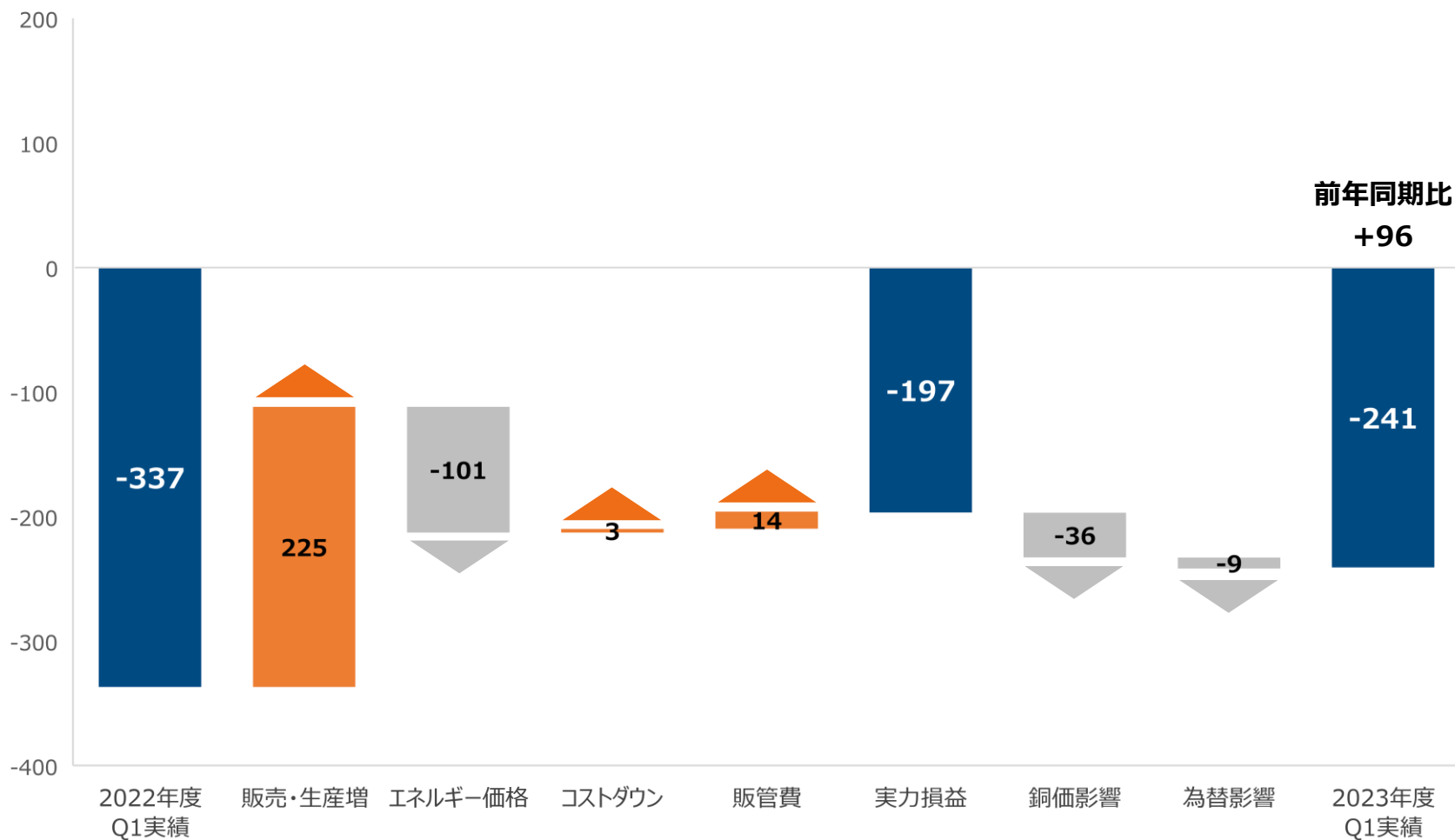
(単位：百万円)

| | 2022年度 Q1 | 2023年度 Q1 | 増減額 | 前年同期比 |
|----------------|--------------|---------------|-----|--------|
| 売上高 | 4,419 | 4,759 | 339 | 7.7% |
| 売上原価 | 4,426 | 4,678 | 251 | 5.7% |
| 売上総利益 | △ 7 | 81 | 88 | - |
| 売上総利益率 (%) | △ 0.2% | 1.7% | - | - |
| 販売費及び一般管理費 | 330 | 322 | △ 7 | △ 2.4% |
| 販管費比率 (%) | 7.5% | 6.8% | - | - |
| 営業利益 | △ 337 | △ 241 | 96 | - |
| 営業利益率 (%) | △ 7.6% | △ 5.1% | - | - |
| 減価償却費 | 307 | 307 | 0 | 0.0% |
| EBITDA | △ 29 | 66 | 96 | - |
| EBITDAマージン (%) | △ 0.7% | 1.4% | - | - |

上記の表は、端数切捨てで統一しております。尚、比率の数値は1円単位で計算しているため、端数処理後の数値とは結果が一致しない場合がございます。また、赤字との比較は増減率(%)の記載を-としております。

営業利益増減分析（前年同期比）

（単位：百万円）



上記の表は、端数切捨てで統一しております。

1. 2023年度第1四半期 決算ハイライト
2. 2023年度第1四半期 業績
3. 2023年度通期 業績見通し
4. 参考資料

2023年度通期 業績見通し

(単位：百万円)

| | 2022年度 実績 | 2023年度 見通し (5/10公表) | 2023年度 Q1 | 進捗率 (%) |
|-----------------|--------------|---------------------------|--------------|------------|
| 売上高 | 17,047 | 20,600 | 4,759 | 23.1% |
| 車載電池用銅箔 | 11,316 | 14,800 | 3,438 | 23.2% |
| 回路基板用銅箔 | 5,730 | 5,800 | 1,321 | 22.8% |
| 営業利益 | △ 1,611 | △ 600 | △ 241 | - |
| 経常利益 | △ 1,840 | △ 1,100 | 44 | - |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | △ 1,933 | △ 1,100 | △ 22 | - |
| EBITDA | △ 371 | 800 | 66 | - |
| 生産数量 (ト>数) | 8,520 | 10,400 | 2,478 | 23.8% |

上記の表は、端数切捨てで統一しております。尚、比率の数値は1円単位で計算しているため、端数処理後の数値とは結果が一致しない場合がございます。また、赤字との比較は増減率(%)の記載を-としております。

2023年度業績見通しについては、銅材料価格 JPY1,250/kg及び為替レートUSD ¥130.00を前提としております。

2023年度 販売計画進捗

- 米国カムデン工場における車載電池用銅箔の量産開始時期については、整流器の復旧スケジュール次第で認証スケジュールに影響する恐れがあり、現在精査中

| 生産拠点 | 用途 | | 納入先 販売市場 | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 |
|----------------|--------------------|--------|--------------------|---------|----|----|----|
| 日本電解 | 車載電池 | LIB | 電池メーカー (日本及び米国) | ●供給中 | | | |
| | | 高容量LIB | 電池メーカー (日本) | ●供給開始予定 | | | |
| | 回路基板 (ハイエンド製品) | PCB | 基板メーカー (日本) | ●供給開始予定 | | | |
| | | PCB | 基板メーカー (米国) | ●供給中 | | | |
| Denkai America | 車載電池 | LIB | 電池メーカー (米国) | ●精査中 | | | |
| | 回路基板 (ミドルレンジ製品) | PCB | 既存 顧客 | ●精査中 | | | |

2023年度 第2四半期 決算発表予定

決算発表予定

2023年11月10日（金曜日）

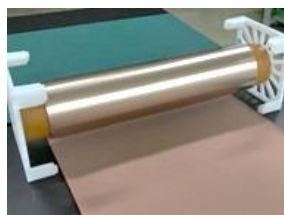
1. 2023年度第1四半期 決算ハイライト
2. 2023年度第1四半期 業績
3. 2023年度通期 業績見通し
4. 参考資料

2022年度 製品別売上構成

回路基板用銅箔

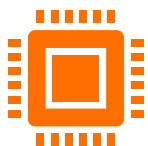
HL・Seed箔

密着性・低損失・高強度



用途

フレキシブルプリント配線板、
半導体パッケージ基板



主要最終製品



5Gスマートフォン



5G通信
基地局 等

車載電池用銅箔

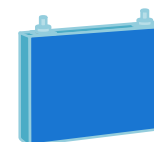
YB箔

高引っ張り強さ、高伸び率



用途

リチウムイオン二次電池 (LIB)



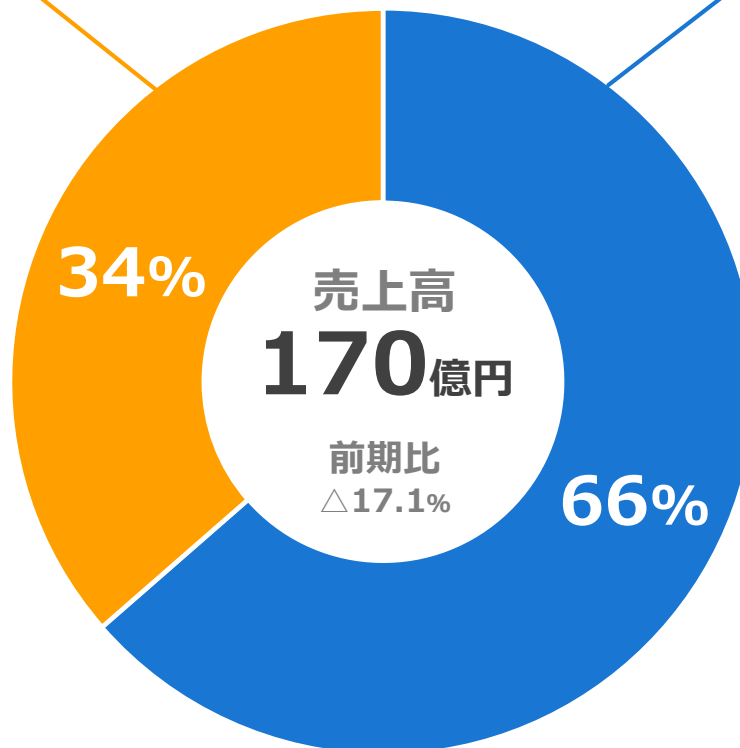
主要最終製品



EV



HV



EBITDA¹ △3億円
EBITDAマージン △2.2%

¹ EBITDAは、営業利益に減価償却費等を足して算出しております。

連結業績推移

(単位：百万円)

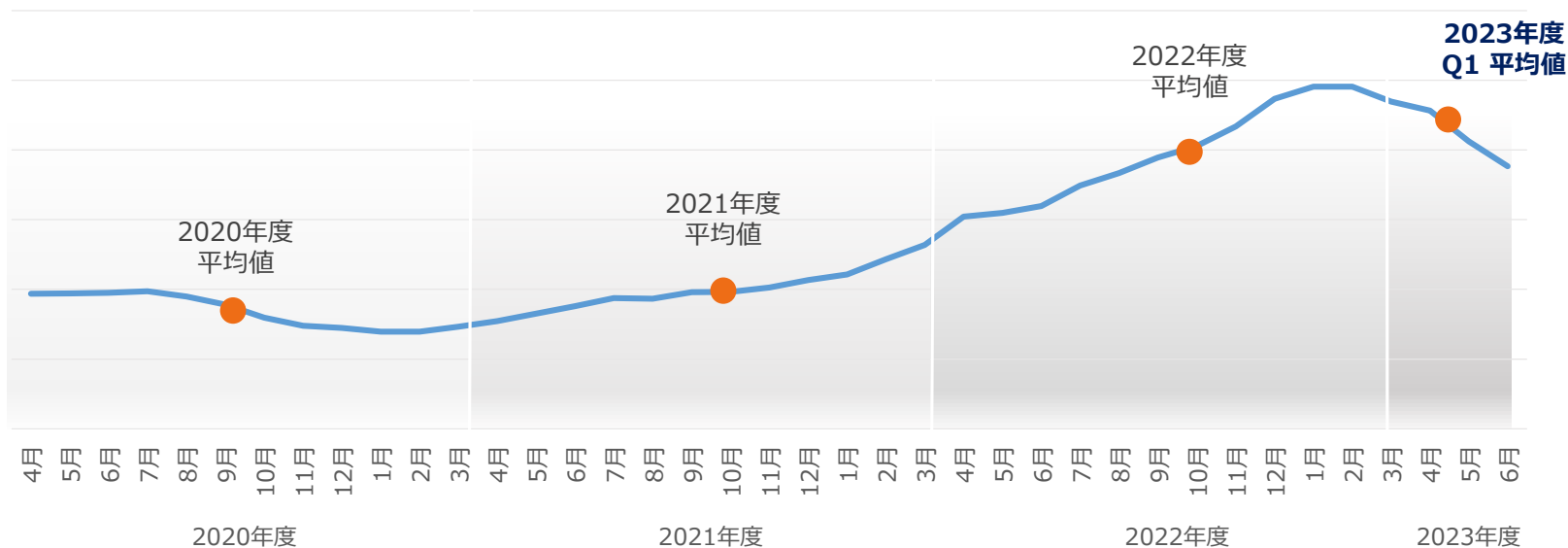
| | FY2020 | FY2021 | FY2022 | | | | | FY2023 | QoQ | YoY |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|--------|---------|--------------|-------|-------|
| | 通期 | 通期 | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 | 通期 | Q1 | | |
| 売上高 | 14,584 | 20,558 | 4,419 | 4,356 | 3,941 | 4,329 | 17,047 | 4,759 | 429 | 339 |
| 車載電池用銅箔 | 9,272 | 13,589 | 2,729 | 2,965 | 2,769 | 2,851 | 11,316 | 3,438 | 586 | 709 |
| 回路基板用銅箔 | 5,312 | 6,969 | 1,690 | 1,390 | 1,172 | 1,477 | 5,730 | 1,321 | △ 156 | △ 369 |
| 売上原価 | 12,863 | 18,527 | 4,426 | 4,252 | 3,923 | 4,340 | 16,943 | 4,678 | 337 | 251 |
| 売上総利益 | 1,721 | 2,030 | △ 7 | 103 | 18 | △ 10 | 104 | 81 | 91 | 88 |
| 売上総利益率(%) | 11.8% | 9.9% | △0.2% | 2.4% | 0.5% | △0.2% | 0.6% | 1.7% | - | - |
| 販売費及び一般管理費 | 1,194 | 1,025 | 330 | 332 | 322 | 730 | 1,715 | 322 | △ 407 | △ 7 |
| 販管費比率(%) | 8.2% | 5.0% | 7.5% | 7.6% | 8.2% | 16.9% | 10.1% | 6.8% | - | - |
| 営業利益 | 527 | 1,004 | △ 337 | △ 228 | △ 304 | △ 741 | △ 1,611 | △ 241 | 499 | 96 |
| 営業利益率(%) | 3.6% | 4.9% | △7.6% | △5.2% | △7.7% | △17.1% | △9.5% | △5.1% | - | - |
| 経常利益 | 440 | 976 | △ 318 | △ 264 | △ 471 | △ 784 | △ 1,840 | 44 | 829 | 363 |
| 当期純利益 | 193 | 848 | △ 294 | △ 315 | △ 384 | △ 939 | △ 1,933 | △ 22 | 917 | 272 |
| 減価償却費 | 1,316 | 1,274 | 307 | 310 | 314 | 308 | 1,240 | 307 | △ 1 | 0 |
| EBITDA | 1,843 | 2,278 | △ 29 | 81 | 9 | △ 432 | △ 371 | 66 | 498 | 96 |
| EBITDAマージン(%) | 12.6% | 11.1% | △0.7% | 1.9% | 0.2% | △10.0% | △2.2% | 1.4% | - | - |
| 生産数量 (ト>数) | 10,058 | 11,936 | 2,074 | 2,172 | 2,345 | 1,928 | 8,520 | 2,478 | 550 | 404 |

上記の表は、端数切捨てで統一しております。尚、比率の数値は1円単位で計算しているため、端数処理後の数値とは結果が一致しない場合がございます。また、赤字との比較は増減率(%)の記載をとしております。

変動要因の推移

電力価格推移

- 当社購入電力価格は、2022年度2月のピークを迎えてから低下傾向にあるものの、当第1四半期平均では高価格で推移



銅材料価格

- 当社では、銅の相場価格を基準として3か月ごとに販売価格を決定する「銅価スライド制」を採用。銅価格が変動してから販売価格に反映するまでにタイムラグは生じるものの、基本的に販売価格に反映が可能

サステナビリティの取り組み

Environment

xEVの普及で、脱炭素社会の実現へ。

当社では、車載電池用銅箔の供給及び高品質化を通じ、車載用リチウムイオン電池とxEVの普及に寄与し、脱炭素社会、持続可能な社会の実現に貢献します。

取り組みを通じて特に貢献可能なSDGsの目標



当社グループの銅材料は、 リサイクル銅100%を使用しています。

当社グループは、製造過程で発生する銅箔屑もリサイクルしています。



取り組みを通じて特に貢献可能なSDGsの目標



Social

パトラン活動

安心安全な街づくり/社員の健康維持・増進

毎月2回茨城県筑西市内で防犯と清掃活動を目的としたパトラン活動（パトロールランニング）を実施しています。

取り組みを通じて特に貢献可能なSDGsの目標



Governance

指名・報酬委員会の設置

2022年2月、取締役会で選ばれた取締役3名（うち過半数は独立の社外取締役）で構成する「指名・報酬委員会」を設置しました。

この「指名・報酬委員会」は、取締役会の諮問を受け、取締役の選任・解任に関する事項、代表取締役の選定・解職に関する事項のほか、監査等委員ではない取締役の報酬等に関する事項等について審議を行った上で取締役会に答申を行います。

取り組みを通じて特に貢献可能なSDGsの目標



この資料の取扱について

本資料は、日本電解株式会社及びその連結子会社の企業情報等の提供のみを目的として作成されたものであり、日本、米国、その他の地域における有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。

本資料には、現在の予定、推定、見込または予測に基づく将来に関する記述が含まれています。この将来に関する記述は、本資料発表日現在において利用可能な情報をもとに、当社経営者が判断した内容に基づいております。将来に関する記述には様々なリスクや不確実性があり、様々な要因の変化等により、この資料に記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがありますことをご了承ください。



日本電解株式会社
Nippon Denkai, LTD.